



人文系私設図書館

ルチャ・リブ新聞

第10号(2017年5月)

5月の開館日

1日(月)、2日(火)、7日(日)、8日(月)

9日(火)、15日(月)、16日(火)、21日(日)

22日(月)、23日(火)、29日(月)、30日(火)

※ 10:00-17:00 開館 ※ 5/3(水)はsoni 青空マルシェに出店します。

※ 5/27(土)はマイクロ・ライブラリーサミット2017に参加します。

出版人類学研究会のお知らせ

◎5月14日(日) 14時～

ゲストに乾聡一郎さん(奈良県立図書館情報館)

をお迎えし、「どりちえず、10年先の図書館」

というテーマでお話を伺います。

華芸部*再開のお知らせ

ルチャ・リブ華芸部が活動再開します。華芸の本

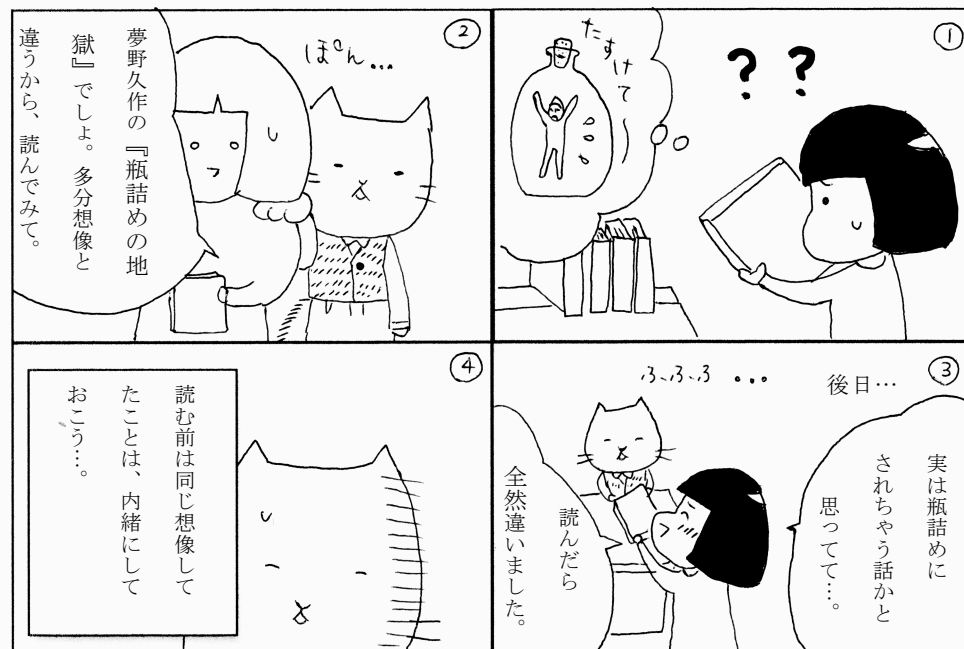
を開いたり、絵本のレイアウトを膨らませたりしな

がら、一緒に編み物や刺繍等を楽しみませんか?活

動日は第3月曜日、日曜日の隔月交代です。今回は5/15

(月) 14時～です。今期は5～11月まで活動予定です。

単発参加も大歓迎!ご参加お待ちしております。



ルチャ・リブの読書日記

おすすめ

◎ 『祭の晩』 宮沢賢治著、たけのよしおず絵（未知谷, 2004）

宮沢賢治作の『祭の晩』に、たけのよしおずの黒炭画が加わった本書。

祭に出かけた少年が出会った、不思議な大男の正体とは…？ 静かで優しい語り口と、陰影が際立った荒れわたる線の黒炭画が、少年と大男のせせりやかな心の交流をより印象深いものにしています。

「祭」と「晩」という日常を離れた時空で、異なる世界の住人同士が交差する。そんなさめく一瞬を捉えた絵本を、お子様と一緒に楽しんだり、童心に還って開いてみませんか？

特集・「暮らす」「働く」を考える本

経営学を専門とする著者が、「働く場所」について様々な角度からひもといた一冊。

神吉 直人
「小さな会社で
ぼくは育った
（しごとのおわ）」



著者いわく、
社会人三年目くらいからの人が
読むと面白いかもしれない事です。
木下 晋也さんのイラストと、やわらかい語り口が
絶妙にマッチした一冊です。

ルチャ・リブロは東吉野村で活動している小さな私設図書館です。

貸出冊数：3冊まで

貸出期間：1ヶ月

HP: <http://lucha-libro.net/>

所在地：奈良県吉野郡 東吉野村

鷺家 天誅組終焉の地石碑スグ

（近鉄榛原駅より奈良交通バス 15
東吉野村役場行き乗車、バス停「鷺家」より川沿い徒歩 10 分）

